

議事録

1. 件名：「核燃料輸送容器のスラップダウン落下試験に係る影響評価手法の精緻化（その2）」に係る現地確認
2. 日時： 令和2年7月28日(火) 9:30～15:00
7月29日(水) 9:30～15:00
3. 場所： 三菱重工業株式会社 神戸造船所 本工場
4. 出席者： 原子力規制庁
長官官房技術基盤グループ 地震・津波研究部門
大橋首席技術研究調査官(7/29のみ)、北村主任技術研究調査官、永井技術研究調査官
長官官房技術基盤グループ 核燃料廃棄物研究部門
増田技術研究調査官(7/29のみ)

三菱重工業株式会社
パワードメイン 原子力事業部 機器設計部 主任 他1名
5. 要旨：
長官官房技術基盤グループ 地震・津波研究部門では、核燃料輸送容器のスラップダウン落下試験に対する構造健全性評価手法の適用性を確認するため、核燃料輸送容器のスラップダウン落下試験に係る安全研究を、平成29年度から令和2年度にかけて計画し、実施している。当部門では、本安全研究の一環として、三菱重工業株式会社と請負契約を締結し、「令和2年度核燃料輸送容器のスラップダウン落下試験に係る影響評価手法の精緻化(その2)」事業を実施している。
当事業に係る現地確認及び打合せを実施した。内容は下記のとおり。
 - ① 下部衝撃緩衝体の圧潰試験(常温試験、高温試験)について、実施状況及び結果速報を確認した。
 - ② ボルト材材料試験に係る今後の工程を確認した。
 - ③ キャスク製造工場の現地確認を実施した。
6. その他
特になし